

音 楽

令和7年度 授業改善のポイント

- 1 題材を通してどのような資質・能力を身に付けさせるのかを明確にするとともに、児童生徒の実態を踏まえて思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている要素を焦点化し、児童生徒が音楽的な見方・考え方を働かせている姿や発言を想定した上で授業を構想する。
- 2 知覚したことと感受したことを関わらせながら深めた考えを基に、思いや意図をもって表現を工夫したり、音楽のよさを味わって聴いたりすることができるようにする。

身に付けさせたい資質・能力を明確にした学習活動の工夫

【指導事例】「情景を思い浮かべながら、旋律の特徴を生かして歌おう」（中学校第1学年）

【教材】「赤とんぼ」三木 露風作詞 山田 耕柞作曲

A表現(1)歌唱 ア、イ(ア)(イ)、ウ(ア) 【共通事項】ア、イ

【ねらい】 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。【思考力、判断力、表現力等】（本時2／3）

- ・歌詞のイメージを大切にしながら、表現に対する思いや意図をもたせたいな。
- ・強弱と旋律の動きとの関係に気付かせたいな。



- ・日本語が美しく響く歌声のよさを味わせたいな。
- ・声の音色や強弱について歌い試す過程を大切にしたいな。

音楽を形づくっている要素

- 音色：曲種に応じた発声
- 旋律：旋律のもつ方向性やフレーズ
- 強弱：旋律線やフレーズに合わせた強弱



ICT 思考・判断のよりどころとなる、音楽を形づくっている要素が捉えやすい音源を用意し、生徒がいつでも聴いて確かめられるようタブレット端末に配布します。

ポイント1 生徒の実態等を踏まえて音楽を形づくっている要素を焦点化し、それらを視点として学習を展開することで、音楽的な見方・考え方を働かせて音楽表現を創意工夫することにつなげていきます。

【授業の展開例】 個で思いや意図をもち、ペアで音楽活動と言語活動を往還させる活動を通して、どのように歌うかについての方向性を定める場面（3番の歌詞に限定）

前時のまとめ

	旋 律	強 弱
要素について知覚したこと	・旋律線がなだらかな山を描いているみたい ・大きなまとまり ・旋律線の上行や下行が大きい	・強弱記号が細かく付けられている ・クレッシェンドやデクレッシェンドが多い ・フォルテがない ・旋律の高低に合わせた強弱
感受したこと	・全体的にあたかもゆったりとした雰囲気だが、3番は寂しい感じ ・優しい感じ ・伸び伸びした感じ ・柔らかくてなめらかな感じ ・全体的に静かだけど、訴えかける感じがある	
歌詞の内容から捉えたこと	・1番と2番は、遠い昔のことを懐かしんでいる ・3番は他の歌詞に比べて姐やが嫁いだこと、姐やから連絡が来なくなったことの寂しさが伝わる ・4番は赤とんぼを見て、更に昔を懐かしんでいる	

ポイント2 思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている要素について全ての生徒が共通して知覚していることが、ねらいに迫る鍵です。

重要 知覚したことと感受したことを関わらせながら深めた考えを基に、様々な歌い試しながら表現に対する思いや意図を明確にしていけるような活動を設定します。



曲のよさが聴き手に伝わるよう、前時のまとめを基にして、声の音色や強弱の工夫をしましょう。個人で考えた後、録音を聴いたりペアでアドバイスし合ったりしましょう。

個で思いや意図をもつ



「お里のたよりも」のところは、旋律線に合わせて強弱記号が付いているからドラマチックな感じがする。クレッシェンドで気持ちの高まりを伝えたいな。

「絶えはてた」のところは、旋律線が下がっているから、寂しい感じがする。ピアノで柔らかく歌って寂しさを伝えたいな。



ペアで音楽活動と言語活動を往還させる



「お里のたよりも」のところは寂しい場面だから、クレッシェンドはもう少し控えめに表現してみてもいいかな？

「絶えはてた」のところは、柔らかい声だったけど弱々しくなったかも。もう少し芯のある声でもいいかもね。



ペアで十分に試行錯誤をした後、個で創意工夫の方向性を定める



クレッシェンドを少し控えめにしてみたら寂しさが伝わってきたから、この工夫で歌いたいな。

芯のある声を意識したら、寂しさの中にも懐かしむ気持ちが表現できた。次は旋律の動きをもっとなめらかにして歌いたいな。

